

2007年度第3四半期決算説明資料

2008年2月1日

川崎汽船株式会社

A. 2007年度第3四半期決算概要

- A-1 2007年度第3四半期決算概要
- A-2 第3四半期業績のポイント
- A-3 部門別業績動向 -コンテナ船-
- A-4 部門別業績動向-ドライバルク-
- A-5 部門別業績動向-自動車船-
- A-6 部門別業績動向-エネルギー資源輸送-
- A-7 部門別業績動向-その他事業部門-

B. 2007年度通期業績予想

- B-1 通期業績予想
- B-2 事業別売上高経常利益予想
- B-3 通期業績予想のポイント
- B-4 部門別業績動向-コンテナ船-
- B-5 部門別業績動向-その他海運-

A. 2007年度第3四半期決算概要

A-1. 2007年度第3四半期決算概要



(単位: 億円)

		2007年度			2006年度	前年同期	前年同期
		上期実績	第3四半期	9ヶ月累積	9ヶ月累積	増減額	増減率
売上高	連結	6,466	3,380	9,846	8,005	1,841	23%
	単体	5,237	2,784	8,021	6,328	1,693	27%
営業利益	連結	616	391	1,007	397	610	154%
	単体	428	297	726	163	562	344%
経常利益	連結	637	373	1,010	417	593	142%
	単体	438	309	747	193	555	288%
当期純利益	連結	440	239	680	356	324	91%
	単体	298	203	501	147	354	241%
為替レート	平均	¥119.64	¥113.45	¥117.57	¥115.96	¥1.61	-
燃料油価格	平均	\$353	\$438	\$381	\$325	\$56	-

【 前年同期比 為替変動: 1.61円安 + 15億円、 燃料油価格変動: \$56高 110億円 】

A-2. 第3四半期業績のポイント

< 前年同期比 > 増収(+1,841億円)・増益(+593億円)

増収・増益要因:

(第3四半期累計 417億円 1,010億円)

全部門における営業規模拡大
新造船18隻竣工
コンテナ船欧州向け運賃の修復
バルク市況の高騰継続

損益変動要因	対前年同期比
為替変動	15
バンカー変動	▲ 110
市況変動	685
営業規模拡大	196
コスト増減	▲ 61
会計基準変更	▲ 132
合計	593

増益要因がバンカー高・会計基準変更の減益を上回る

A-3. 部門別業績動向

- コンテナ船 -



< 前年同期比 > 売上高4,536億円(+811億円増収)・経常利益95億円(+150億円増益)

増収・増益要因

- 営業規模拡大
東西航路の増強 (当社最大船型8,000TEU型の投入、
スエズ経由アジア・北米東岸航路開設等)
南北航路の拡充 (欧州・南米東岸、アジア・南米東岸航路の開設)

- 総積高(243.7万TEU) : 堅調な荷動きにより前年同期比 + 10.5%増

- 運賃率 (前年同期比改善)

前年同期比	北米	欧州	大西洋	アジア	南北
往航	3%	+31%	7%	+13%	+9%
復航	2%	8%	+11%	+1%	-

- コスト増: 燃料油価格 \$382/MT (前年同期比 +\$56高)

- 複合輸送進行基準への変更: 影響額 132億円

A-4. 部門別業績動向

- ドライバルク -

< 前年同期比 > 増収・増益

増収要因

- 営業規模拡大 新造船竣工（第3四半期までに9隻）
- 稼動延^ト: 140.9百万^ト 154.1百万^ト、前年同期比+9.4%増

増益要因

- 大型船市況：未曾有の高騰局面が続き、前年同期を大きく上回る
- 中型船市況：需要底堅く、前年同期を大きく上回る高値圏で推移
- 小型船市況：セメント・鋼材輸送等の需要増により高値圏で推移

ドライバルク市況 (太平洋ラウンド)	2007年度			前年同期比		2006年度 第1-3四半期 実績平均
	第3四半期 実績	第1-3四半期 実績平均	中間時 下期見込み	増減額	増減率	
ケープ(170型)	\$179,000	\$127,000	\$112,500	\$77,000	154.0%	\$50,000
パナマックス(74型)	\$82,000	\$62,000	\$60,000	\$35,000	129.6%	\$27,000
ハンディ(53型)	\$65,000	\$50,000	\$45,000	\$24,000	92.3%	\$26,000

A-5. 部門別業績動向

- 自動車船 -

< 前年同期比 > 増収・増益

増収要因

- 営業規模拡大

第3四半期までに、6000台積み大型船 2隻が竣工、昨年度竣工の8隻がフル稼働

- 日本・韓国車の需要、自動車メーカー海外生産による堅調な荷動き
- 中南米・カリブ、中近東・アフリカ向け、三国間輸送が増加
- 欧州域内輸送も拡大

- 総積台数(含む欧州域内): 232.1万台 251.5万台(前年同期比+8.4%)

増益要因:

- 輸送能力増強に伴う積高増加
- 荷動きに応じた各航路への最適配船の実施
- 中南米・カリブ方面向け、三国間輸送の旺盛な貨物需要を取込み

A-6. 部門別業績動向

- エネルギー資源輸送 -

< 前年同期比 > 増収・減益

増収要因

- 営業規模拡大

LNG船: 短期傭船1隻も含め各プロジェクト合計33隻順調に稼動

油槽船: 上期竣工した新造船3隻が順調に稼動 (VLCC 1隻/アンモニア船2隻)

稼動延ト: 2,348万ト 3,099万ト (+32.0%増)

減益要因

- 燃料油価格が高騰を続ける中、運賃市況は第3四半期に回復するも前年同期を下回る

油槽船市況 (WS)	2007年度			前年同期比		2006年度
	第3四半期 実績	第1-3四半期 実績平均	中間時 下期見込み	増減額	増減率	第1-3四半期 実績平均
VLCC (中東/日本)	WS 136	WS 85	WS 70	▲ WS 7	▲ 7.5%	WS 92
Aframax (南方/日本)	WS 183	WS 153	WS 120	▲ WS 19	▲ 11.2%	WS 172
ク-ン7万ト型 (中東/日本)	WS 155	WS 145	WS 135	▲ WS 46	▲ 24.1%	WS 191

A-7. 部門別業績動向

- その他事業部門 -

(内航・フェリー)

< 前年同期比 > 増収・増益

- 底堅い国内原材料需要
- 新造石灰石専用船、効率配船、フェリー4便化が貢献

(物流事業)

< 前年同期比 > 増収・増益

- 内外グループ各社の連携強化で取扱高を伸長

B. 2007年度通期業績予想

B-1. 2007年度通期業績予想



(単位:億円)

(単位:億円)

		2007年度						
		上期実績	下期予想			通期予想	中間期公表	増減額
			第3四半期実績	第4四半期予想	下期予想			
売上高	連結	6,466	3,380	3,154	6,534	13,000	13,000	-
	単体	5,237	2,784	2,479	5,263	10,500	10,500	-
営業利益	連結	616	391	273	664	1,280	1,280	-
	単体	428	297	134	432	860	860	-
経常利益	連結	637	373	270	643	1,280	1,280	-
	単体	438	309	143	452	890	890	-
当期純利益	連結	440	239	160	400	840	840	-
	単体	298	203	89	292	590	590	-
配当	単体	¥12	-	-	¥13	¥25	¥25	-
為替レート	平均	¥119.64	¥113.45	¥105.00	¥109.23	¥114.43	¥116.07	▲¥1.64
燃料油価格	平均	\$353	\$438	\$487	\$463	\$408	\$387	\$21

2006年度		
通期実績	増減額	増減率
10,855	2,145	20%
8,573	1,927	22%
614	666	109%
281	579	206%
639	641	100%
319	571	179%
515	325	63%
253	338	134%
¥18	¥7	39%
¥116.91	▲¥2.48	-
\$319	\$89	-

(参考:四半期決算推移)

(単位:億円)

	2006年				2007年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
連結 経常利益	101	145	171	222	361	276	373	270

B-2. 事業別売上高経常利益予想

(単位:億円)

事業部門		2007年度			2006年度			増減	
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	通期
コンテナ船	売上高	3,008	2,992	6,000	2,439	2,595	5,035	569	965
	経常損益	81	▲ 23	58	▲ 32	▲ 47	▲ 78	113	136
その他海運	売上高	2,961	2,919	5,880	2,204	2,480	4,684	757	1,196
	経常損益	524	632	1,156	254	407	660	270	496
その他	売上高	497	623	1,120	537	599	1,136	▲ 40	▲ 16
	経常損益	32	34	66	24	33	57	8	9
合計	売上高	6,466	6,534	13,000	5,180	5,675	10,855	1,286	2,145
	経常損益	637	643	1,280	246	393	639	391	641

*代理店、ターミナル事業を含む

B-3. 通期業績予想のポイント

< 前年同期比 > 増収(+2,145億円)・増益(+641億円)

前提:燃料油価格 \$319 \$408、為替 ¥116.91 ¥114.43 市況改善、規模拡大

< 公表比 > 横這い

前提:燃料油価格 \$387 \$408、為替 ¥116.07 ¥114.43

(第4四半期前提:燃料油価格高騰 \$450 \$487、為替円高 ¥110 ¥105)

バルク市況高増益は

円高・バンカー高減益で相殺

(06F実績 639億円、07F公表 1,280億円 => 07F見込 1,280億円)

損益変動要因	対前年比	対公表比
為替変動	▲ 30	▲ 25
バンカー変動	▲ 231	▲ 54
市況変動	813	93
営業規模拡大	251	▲ 18
コスト増減	▲ 51	4
その他	17	▲ 12
会計基準変更	▲ 128	12
合計	641	0

B-4. 部門別業績動向 -コンテナ船-



<コンテナ船>

前期比： 売上6,000億円(+965億円増収)・経常利益58億円(+136億円増益)

公表比： 減収(100億円)・ 減益(82億円)

積高： 320万TEU (前年比 +9%の増加、公表比 1%の減少)

運賃率：

前年比	北米	欧州	大西洋	アジア	南北
往航	+4%	+31%	6%	+14%	+8%
復航	+2%	-	+11%	+2%	-

概況： 平均運賃は予想と変わらず推移するも、
積高の伸びの減速、燃料油価格高騰により公表比は減収減益

B-5. 部門別業績動向 -その他海運-

< 不定期専用船 > 前期比増収・増益、公表比増収・増益

ドライバルク: 運賃市況は11月より調整局面ではあるが、前年を大きく上回る水準で推移

2007年度 新造船10隻竣工。営業規模拡大 業績改善

ドライバルク市況 (太平洋ラウンド)	第1-3四半期 実績平均	直近市況	第4四半期 見込	下期見込	通期見込	中間時 下期見込	2006年度 通期実績
ケープ(170型)	US\$127,000	US\$90,000	US\$80,000	US\$129,500	US\$115,000	US\$112,500	US\$54,500
パナマックス(74型)	US\$62,000	US\$36,000	US\$50,000	US\$66,000	US\$59,000	US\$60,000	US\$29,000
ハンディ(53型)	US\$50,000	US\$28,000	US\$40,000	US\$52,000	US\$48,000	US\$45,000	US\$27,500

自動車船: 2007年度 新造船4隻竣工。営業規模拡大・サービス拡充 業績安定推移、改善

< エネルギー資源輸送 >

LNG船: 2007年度 新造船3隻竣工、プロジェクト船 合計34隻に拡大 業績安定推移

油槽船: 運賃市況は11月以降急回復しているものの、前年度を下回る見込 業績悪化

油槽船市況 (WS)	第1-3四半期 実績平均	直近市況	第4四半期 見込	下期見込	通期見込	中間時 下期見込	2006年度 通期実績
VLCC (中東/日本)	WS 85	WS 125	WS 80	WS 108	WS 84	WS 70	WS 86
Aframax (南方/豪州)	WS 153	WS 135	WS 160	WS 172	WS 154	WS 120	WS 164
クワン7万ト型 (中東/日本)	WS 145	WS 165	WS 160	WS 158	WS 149	WS 135	WS 177